



2013年12月期 決算説明資料

2014年 2月 13日
富士ソフト株式会社



目次

P. 3	2013年12月期 決算
	<ul style="list-style-type: none">● 連結業績ハイライト● 主なグループ会社売上高・営業利益● 連結セグメント別売上高● 連結損益計算書● 連結貸借対照表● 連結キャッシュ・フロー計算書● 連結S I 事業の受注高・受注残高● 単体損益計算書
P. 11	2014年12月期 通期業績予想
P. 14	今後の3カ年について
P. 18	トピックス

今期より決算期を3月から12月に変更

本資料に記載している「2013年12月期 決算」(P3~P10)の「前年差」、「前年比」は2012年4月～2012年12月の累計実績と比較したものです。
また、「2014年12月期 通期業績予想」(P12)の「前年差」、「前年比」は2013年1月～2013年12月の累計実績と比較したものです。

● 連結業績ハイライト

売上高は連結子会社除外の影響を補い増収

◇売上高は単体および主要子会社3社が増収であったことにより、前年の連結子会社除外（※）の影響を補い、前年比103.2%の105,399百万円となりました。

営業利益は増益、経常利益、当期純利益は持分法投資利益が寄与し大幅増益

◇営業利益は増収および単体の業務効率化や子会社の原価率改善などを主因に、前年比106.1%の5,713百万円となりました。

◇経常利益、当期純利益は持分法投資損益が大幅に改善し、大幅増益となりました。

※2012年7月末に富士ソフトKCSを売却したことにより、連結除外。

(単位:百万円)

	2013年3月期	2013年12月期	前年差	前年比	2013年12月期	
	3Q実績	実績			計画	計画比
売上高	102,118	105,399	+3,281	103.2%	104,000	101.3%
営業利益	5,383	5,713	+329	106.1%	5,700	100.2%
営業利益率	5.3%	5.4%	+ 0.1		5.5%	
経常利益	5,455	6,585	+1,129	120.7%	5,900	111.6%
経常利益率	5.3%	6.2%	+ 0.9		5.7%	
当期純利益	2,496	3,695	+1,198	148.0%	3,000	123.2%
当期純利益率	2.4%	3.5%	+ 1.1		2.9%	

● 主なグループ会社売上高・営業利益

(単位:百万円)

	売上高				営業利益			
	2013年3月期 3Q実績	2013年12月期 実績	前年差	前年比	2013年3月期 3Q実績	2013年12月期 実績	前年差	前年比
富士ソフト	57,990	61,316	+3,325	105.7%	3,520	3,781	+261	107.4%
サイバネットシステム	9,960	11,772	+1,812	118.2%	204	494	+289	241.7%
ヴィンクス	19,974	20,044	+69	100.3%	729	950	+220	130.3%
サイバーコム	5,286	5,596	+310	105.9%	334	395	+61	118.4%

※ヴィンクスの前年実績は旧ヴィンキュラム ジャパンと旧ヴィクサスの単純合算値です。

※富士ソフトおよびサイバネットシステムは1 2月決算、ヴィンクスおよびサイバーコムは3月決算です。

主なグループ会社売上高・営業利益のポイント

(単体業績はP.10をご参照ください)

●サイバネットシステム

売上高は主力CAEについて自動車業界向けの売上が伸張したこと、海外子会社のソフトウェア販売が好調に推移したことにより増収となりました。またそれに伴い営業利益も増益となりました。

●ヴィンクス

売上高は国内外において既存特定顧客の深耕が図れたこと、消費税法改正によるシステム変更需要により増収となりました。営業利益は経営統合効果により品質管理力が強化され、原価率改善により増益となりました。

●サイバーコム

売上高は制御系ソフト開発における車載システム、およびECサイト構築、医療系・自治体向けなどの業務系ソフト開発が伸張したこと、また、構築・保守・運用サービスや「Cyber-Smart CTI」を中心とした自社プロダクト販売が堅調に推移したことにより増収となりました。また、営業利益も増収と販管費の抑制により増益となりました。

連結セグメント別売上高

(単位:百万円)

	2013年3月期		2013年12月期		前年差	前年比
	3Q実績	構成比	実績	構成比		
売上高 合計	102,118	100.0%	105,399	100.0%	+3,281	103.2%
SI事業	95,699	93.7%	98,658	93.6%	+2,958	103.1%
システム構築	56,665	55.5%	57,321	54.4%	+655	101.2%
組込系/制御系ソフトウェア	28,377	27.8%	27,270	25.9%	△1,106	96.1%
業務系ソフトウェア	28,287	27.7%	30,050	28.5%	+1,762	106.2%
プロダクト・サービス	39,034	38.2%	41,337	39.2%	+2,302	105.9%
プロダクト・サービス	23,800	23.3%	26,620	25.3%	+2,820	111.8%
アウトソーシング	15,233	14.9%	14,716	14.0%	△517	96.6%
ファシリティ事業	1,495	1.5%	1,497	1.4%	+1	100.1%
その他事業	4,922	4.8%	5,244	5.0%	+321	106.5%

セグメント別売上高のポイント

●組込系/制御系ソフトウェア

ネットワーク機器ベンダー向けのネットワークインフラ案件などの社会インフラ案件が好調に推移したものの、国内携帯メーカーの事業縮小の影響でモバイル系が減少したことを主因に前年比96.1%の減収となりました。

●業務系ソフトウェア

単体において金融系や教育関連分野、およびインターネットビジネス関連が好調に推移したことにより、前年の連結子会社除外の影響を補い、前年比106.2%の増収となりました。

●プロダクト・サービス

単体におけるライセンスビジネスが好調であったこと、およびサイバネットシステムが増収だったことにより、前年比111.8%の増収となりました。

●アウトソーシング

主要顧客の経営統合の影響などにより、前年比96.6%の減収となりました。

連結損益計算書

(単位: 百万円)

	2013年3月期	2013年12月期	前年差	前年比	2013年12月期	
	3Q実績	実績			計画	計画比
売上高	102,118	105,399	+3,281	103.2%	104,000	101.3%
売上原価	77,824	79,926	+2,101	102.7%	78,800	101.4%
売上原価率	76.2%	75.8%	△ 0.4		75.8%	
売上総利益	24,293	25,473	+1,180	104.9%	25,200	101.1%
売上総利益率	23.8%	24.2%	+ 0.4		24.2%	
販売費及び一般管理費	18,909	19,759	+850	104.5%	19,500	101.3%
販管費率	18.5%	18.7%	+ 0.2		18.8%	
営業利益	5,383	5,713	+329	106.1%	5,700	100.2%
営業利益率	5.3%	5.4%	+ 0.1		5.5%	
営業外収益	*1 413	*2 593	+180 ①	143.7%	-	-
営業外費用	399	479	+80	120.1%	-	-
持分法による投資損益	57	757	+699 ②	1310.0%	-	-
経常利益	5,455	6,585	+1,129	120.7%	5,900	111.6%
経常利益率	5.3%	6.2%	+ 0.9		5.7%	
特別利益	326	515	+189 ③	158.0%	-	-
特別損失	205	490	+284 ④	238.5%	-	-
税金等調整前当期純利益	5,576	6,610	+1,034	118.5%	-	-
法人税等合計	2,895	2,843	△ 51	98.2%	-	-
少数株主損益	185	72	△ 112	38.9%	-	-
当期純利益	2,496	3,695	+1,198	148.0%	3,000	123.2%
当期純利益率	2.4%	3.5%	+ 1.1		2.9%	

損益計算書のポイント

①営業外収益 (前年差+180百万円)

大型アウトソーシング案件終了に伴う一時金などにより増加

②持分法による投資損益 (前年差+699百万円)

持分法適用関連会社の投資損益の改善 (エース証券: +704百万円) が寄与

③特別利益 (前年差+189百万円)

ヴィンクスの合併に伴う持分変動利益 (455百万円) の計上および前年に計上した連結子会社売却益の反動 (△284百万円)

④特別損失 (前年差+284百万円)

証券系子会社におけるプロダクト関連の固定資産減損損失の計上などにより増加

*1 持分法による投資利益 (57百万円) を除いた数値です。

*2 持分法による投資利益 (757百万円) を除いた数値です。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2013年3月期 期末	2013年12月期 期末	前期末差
流動資産	52,425	51,907	△ 518
現金及び預金	12,990	14,345	+1,355
受取手形及び売掛金	29,000	28,260	△ 740 ①
有価証券	3,024	2,302	△ 722
たな卸資産	2,566	2,119	△ 447
繰延税金資産	2,859	1,742	△ 1,117
その他	1,984	3,137	+1,153
固定資産	100,734	102,615	+1,851
有形固定資産	71,345	69,493	△ 1,851 ②
無形固定資産	7,801	8,100	+299
投資その他の資産	21,587	25,020	+3,433
資産合計	153,160	154,522	+1,362
流動負債	40,702	39,855	△ 846
買掛金	8,295	7,433	△ 861 ①
短期借入金	16,065	15,507	△ 557 ③
コマーシャル・ペーパー	-	4,000	+4,000
未払費用	3,114	3,349	+234
賞与引当金	4,312	2,397	△ 1,915 ④
未払法人税等	2,461	275	△ 2,186 ⑤
工事損失引当金	257	79	△ 177
その他	6,195	6,812	+617
固定負債	23,224	19,595	△ 3,629
長期借入金	14,845	9,426	△ 5,419 ③
その他	8,379	10,169	+1,789
負債合計	63,926	59,450	△ 4,476
少数株主持分	10,204	10,244	+40
純資産合計	79,028	84,827	+5,798
負債純資産合計	153,160	154,522	+1,362

貸借対照表のポイント

① 受取手形及び売掛金 (前期末差△740百万円)
買掛金 (前期末差△861百万円)

季節要因による売掛金・買掛金の減少

② 有形固定資産 (前期末差△1,851百万円)

単体および子会社での減価償却による減少

③ 短期借入金 (前期末差△557百万円)
長期借入金 (前期末差△5,419百万円)

約定返済に伴う減少

④ 賞与引当金 (前期末差△1,915百万円)

決算期変更による影響

⑤ 未払法人税等 (前期末差△2,186百万円)

季節要因による減少

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2013年3月期 3Q実績	2013年12月期 実績	前年差
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,009	6,342	△ 1,667
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,571	△ 2,538	△ 966
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,225	△ 3,375	+4,850
現金及び現金同等物に係る換算差額	29	202	+173
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,758	631	+2,389
現金及び現金同等物の期首残高	13,279	13,698	+418
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	110	12	△ 97
現金及び現金同等物の期末残高	11,631	14,342	+2,710

キャッシュ・フローのポイント

● 営業活動によるキャッシュ・フロー

前期の増益に伴う法人税の増加や人件費の支払いの増加により、前年差△1,667百万円となりました。

● 投資活動によるキャッシュ・フロー

前期に連結子会社売却による収入があったこと、および今期に単体においてプロダクト関連(FSMobile、みらいスクールステーションなど)の投資額が増加したことにより、前年差△966百万円となりました。

● 財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の約定返済を継続して進めました。また、資金調達が多様化を図るためコマーシャル・ペーパーを4,000百万円発行しました。



連結 S I 事業の受注高・受注残高

(単位:百万円)

	参考	2013年12月期 実績						
	2012年12月末 受注残高	期首受注残高	受注高	前年比	売上高	前年比	期末受注残高	前年比
SI事業 合計	26,616	27,581	97,414	102.0%	98,658	103.1%	26,337	99.0%
システム構築	16,886	16,505	57,645	98.7%	57,321	101.2%	16,830	99.7%
組込系/制御系ソフトウェア	8,166	8,084	26,837	91.8%	27,270	96.1%	7,651	93.7%
業務系ソフトウェア	8,720	8,421	30,808	105.5%	30,050	106.2%	9,178	105.3%
プロダクト・サービス	9,730	11,075	39,768	107.1%	41,337	105.9%	9,507	97.7%
プロダクト・サービス	5,301	6,736	26,337	118.6%	26,620	111.8%	6,453	121.7%
アウトソーシング	※ 4,428	※ 4,339	13,431	90.0%	14,716	96.6%	3,054	69.0%

※第2四半期よりヴィンクスにおいて、旧ヴィンキュラム ジャパンと旧ヴィクサスの受注残高の集計基準を統一したことにより、アウトソーシングの受注残高を新集計基準で再算出しました。

受注高・受注残高のポイント

●受注高のポイント

SI事業全体では前年比102.0%となりました。
システム構築では組込系/制御系ソフトウェアにおいて、国内携帯メーカーの事業縮小の影響でモバイル系が大きく減少しました。一方、業務系ソフトウェアでは単体で金融系の大型案件を受注したため、増加しました。
プロダクト・サービスでは単体において主要顧客案件の終了の影響があったものの、ライセンスビジネスが好調に推移し、増加しました。

●受注残高のポイント

SI事業全体では前年比99.0%となりました。
システム構築では組込系/制御系ソフトウェアにおいて、国内携帯メーカーからの受注減少の影響でモバイル系が大きく減少しました。一方、業務系ソフトウェアは順調に推移し前年並みとなりました。
プロダクト・サービスでは単体におけるライセンスビジネスやサイバネットシステムのプロダクト販売が好調であったものの、アウトソーシングで主要顧客の経営統合の影響があり減少となりました。



単体損益計算書

(単位:百万円)

	2013年3月期	2013年12月期	前年差	前年比	2013年12月期	
	3Q実績	実績			計画	計画比
売上高	57,990	61,316	+3,325①	105.7%	61,000	100.5%
売上原価	44,163	47,456	+3,292	107.5%	46,500	102.1%
売上原価率	76.2%	77.4%	+1.2②		76.2%	
売上総利益	13,826	13,860	+33	100.2%	14,500	95.6%
売上総利益率	23.8%	22.6%	△1.2		23.8%	
販売費及び一般管理費	10,306	10,078	△227③	97.8%	10,400	96.9%
販管费率	17.8%	16.4%	△1.4		17.0%	
営業利益	3,520	3,781	+261④	107.4%	4,100	92.2%
営業利益率	6.1%	6.2%	+0.1		6.7%	
営業外収益	551	785	+234⑤	142.5%	-	-
営業外費用	372	442	+69	118.8%	-	-
経常利益	3,699	4,125	+425	111.5%	4,200	98.2%
経常利益率	6.4%	6.7%	+0.3		6.9%	
税引前当期純利益	5,197	4,150	△1,046⑥	79.9%	-	-
税引前当期純利益率	9.0%	6.8%	△2.2		-	-
当期純利益	3,337	2,933	△404	87.9%	2,600	112.8%
当期純利益率	5.8%	4.8%	△1.0		4.3%	

単体業績のポイント

①売上高 (前年差+3,325百万円)

上期に引き続き、ライセンスビジネスや金融系が好調に推移し増収

②売上原価率 (前年差+1.2ポイント)

物販売上比率の増加

③販売費及び一般管理費 (前年差△227百万円)

主要プロダクトを中心に販促費が増加したものの、管理経費抑制により減少

④営業利益 (前年差+261百万円)

売上高の増加、販管費の減少を主因に増益

⑤営業外収益 (前年差+234百万円)

大型アウトソーシング案件終了に伴う一時金や受取配当金(エース証券)の増加により増加

⑥税引前当期純利益 (前年差△1,046百万円)

前年に連結子会社売却益(1,482百万円)を計上したことに伴う反動により減益



2014年12月期 通期業績予想

2014年12月期 連結業績予想

(単位:百万円)

	2013年12月期 実績	2013年 1-12月累計実績	2014年12月期 計画	前年差	前年比
売上高	105,399	141,493	144,000	+2,506	101.8%
売上原価	79,926	107,585	109,400	+1,814	101.7%
売上原価率	75.8%	76.0%	76.0%	-	-
売上総利益	25,473	33,908	34,600	+692	102.0%
売上総利益率	24.2%	24.0%	24.0%	-	-
販売費及び一般管理費	19,759	26,228	26,800	+571	102.2%
販管费率	18.7%	18.5%	18.6%	-	-
営業利益	5,713	7,679	7,800	+120	101.6%
営業利益率	5.4%	5.4%	5.4%	-	-
経常利益	6,585	9,175	7,700	△1,475	83.9%
経常利益率	6.3%	6.5%	5.3%	-	-
当期純利益	3,695	5,201	4,300	△901	82.7%
当期純利益率	3.4%	3.7%	3.0%	-	-

● 配当について

2013年12月期 期末配当は21円／株

積極的な事業展開や不慮のリスクに備えるために一定の内部留保を確保しつつ、「安定的な利益還元」を基本方針とします。

■ 1株当たり当期純利益・配当金・配当性向の推移(連結)

(単位:円)

	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	2013年3月期 実績	2013年12月期 実績	2014年12月期 計画
1株当たり当期純利益	78.77	53.70	127.67※1	118.73※2	138.09
1株当たり配当金	20	20	24	21	28
配当性向	25.4%	37.2%	18.8%	17.7%	20.3%

※1 連結子会社(富士ソフトKCS)の株式売却益計上(284百万円)

※2 9ヶ月決算

今後の3カ年について

基本方針

ICTの発展をお客様価値向上へ結びつけるイノベーション企業グループ

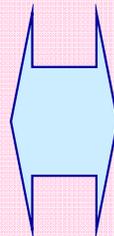
お客様のさらなる「付加価値の向上」「新たなビジネスの創出」「競争優位性の強化」に繋げる

中期目標

高付加価値事業構造への挑戦と創造

付加価値の向上

現場力強化
マーケット創出 (含 海外)
販管コスト適正化



プロダクト化・サービス化推進

クラウド (C) (含：ネット関連)
ロボットテクノロジー (R)
モバイル (M) (含：様々なデバイス)

<基本戦略>

受託ビジネス基盤の強化

プライム化の推進

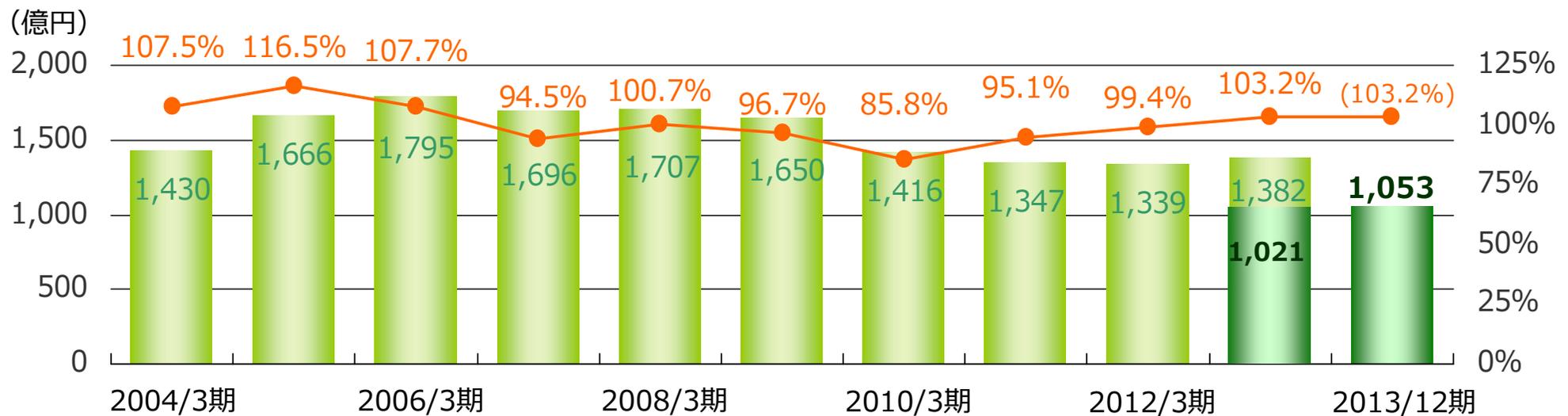
プロダクト化の推進

グローバル化の推進

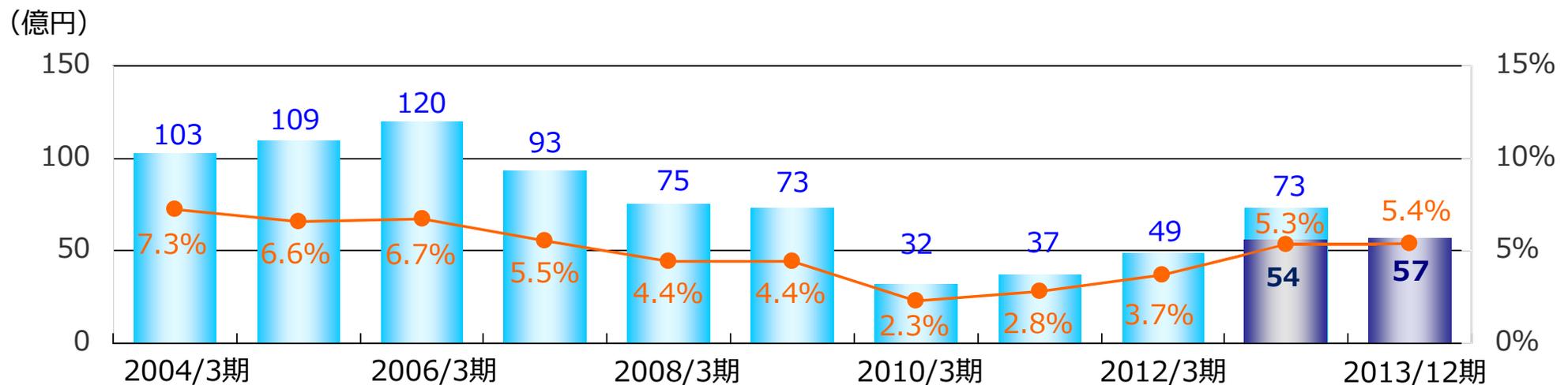
グループカの強化

業績の推移 (実績)

売上高・成長率推移

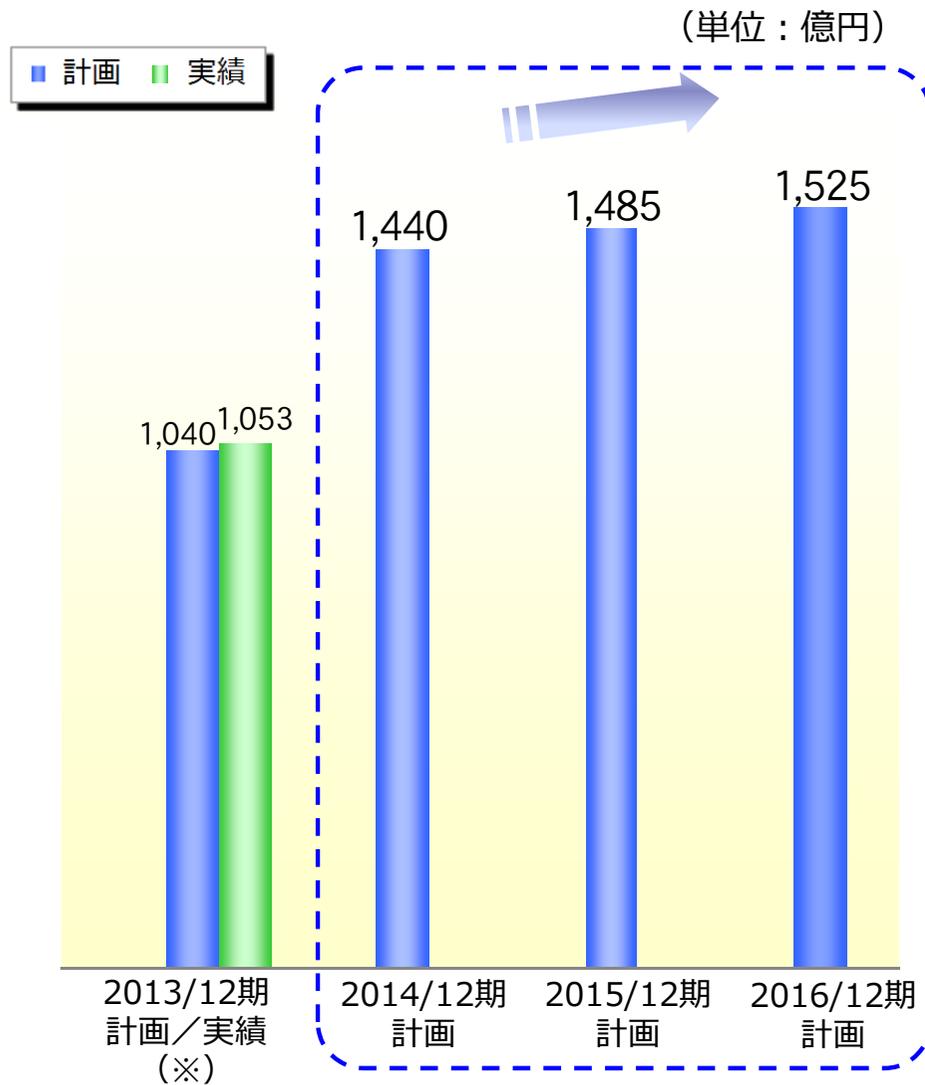


営業利益・営業利益率推移

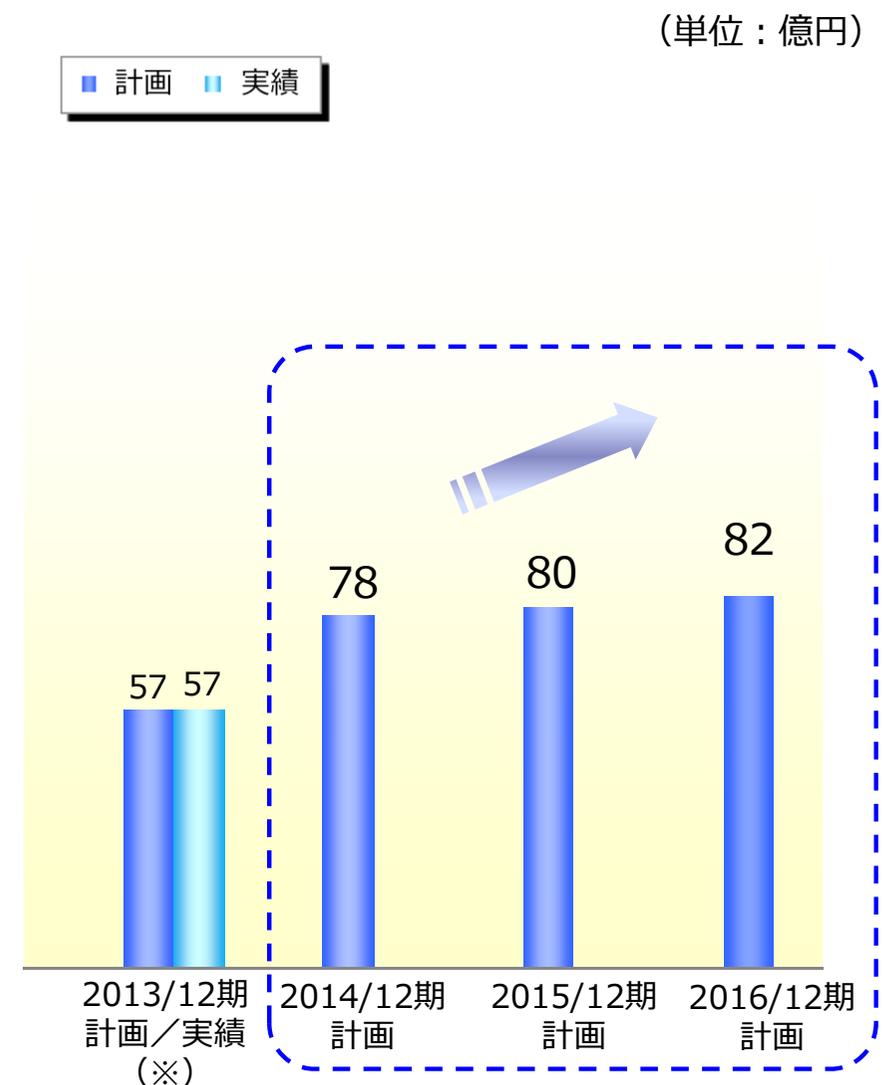


業績の推移（今後の3カ年）

連結売上高の推移



連結営業利益の推移



※ 9ヶ月決算



トピックス

● 展開中の主要プロダクト・サービス



palro



介護福祉分野への
展開強化



LTE対応モバイル
WiFiルーター
FS010W



モバイル向け映像
モジュール



コンテンツ
FSKAREN
Refills



車載用DVR



FSDTV



● グローバル関連状況

2014年1月13日

ヴィンクス ベトナム(株)事業開始

2012年10月12日

イオンディライト(株)、ヴィンキュラム ジャパン(株) (現 (株) ヴィンクス) 、
(株)東忠の3社による中国BPO事業を行う合併会社設立

2012年7月5日

富士ソフト ソウル支店開設

2012年7月1日

ヴィンキュラム マレーシア (株) (現ヴィンクス マレーシア (株)) 事業開始

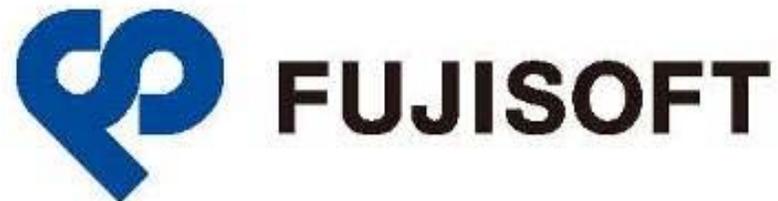
2012年7月1日

サイバネットシステム코리아 (株) 事業開始

<海外拠点数> 2013年12月末時点

- アジア 11拠点
- 北米 3拠点
- 欧州 2拠点

BYOD推進企業



※ 本資料に掲載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて合理的と判断したものです。実際の業績は市場動向、経済情勢など様々な要因の変化により大きく異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。
また、資料配布の目的が、当社株式の保有継続および追加購入を推奨するものではないことも、併せてご理解いただきますようお願い申し上げます。